

# ふくし ふれあい

## CONTACT WITH WELFARE

冬号  
2021年  
1月1日  
No.78

発行 一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会 発行者 友田孝行 編集者 浦本公也 E-mail rofuku@lime.ocn.ne.jp  
事務局 〒862-0963 熊本市南区出仲間8丁目9-1 TEL096-377-6029 http://kumamoto.rofuku.net/  
FAX096-377-6030

### 年頭に 寄せて

明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は労働者福祉運動ならびに福祉事業団体の事業推進に対するご支援・ご協力に厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症のパンデミックは社会・経済、そして雇用や暮らしに大きな影響を及ぼしています。

コロナ禍で苦しむ方々への緊急生活支援の取り組みであります。「ろうふくエール基金」について改めてご紹介いたします。

新型コロナウイルス感染拡大によって、仕事や住まいを失うなど、



## コロナ禍で苦しむ人に生活・就労応援基金に協力を

一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会 理事長 友田孝行

困難を抱えた人たちを支援するため、中央労福協では生活・就労応援基金（愛称：ろうふくエール基金）を昨年7月に設置し、寄付の受付をスタートしました。基金への協力の呼びかけに応じて団体や個人の方々から、総額1,800万円を超える寄付が寄せられています。

（昨年10月末時点）この基金を利用して生活困窮者自立支援事業の相談員への応援や、コロナ禍で苦しむ方々への緊急生活支援のための助成に取り組んでいるところです。

労福協はめざす社会像として、「貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で安心して働き暮らせる持続可能な社会」を提起しています。

今こそ、支え合いのときです。この支援の輪を広げ、活動を充実

させていくには、皆さまからの温かいご支援が必要です。基金への寄付に関しましては、中央労福協のホームページでご案内しています。

「ろうふくエール基金」への取り組みに対します、皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

本年が皆さまにとりまして、実り多く輝かしい年となりますよう祈念申し上げ、新春のご挨拶いたします。

「新型コロナ」この困難を共に乗り越えましょう



### 明けましておめでとう 一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会

役職名	氏名	選出団体	役職名	氏名	選出団体
理事長	友田 孝行	連合熊本(電機連合)	理事	山野 雄一郎	連合熊本(運輸労連)
副理事長	上田 淳	福祉事業団体(JP 労組)	理事	峯 潔	連合熊本(自治労)
副理事長	田川 仁	福祉事業団体(自治労)	理事	倉岡 興平	連合熊本(JP 労組)
副理事長	松村 勲	連合熊本(自動車総連)	理事	中谷 真弥	連合熊本(電機連合)
専務理事	浦本 公也	連合熊本(国公連合)	理事	河野 泰博	連合熊本(情報労連)
理事	梶田 秀治	福祉事業団体(UA ゼンセン)	監事	猿渡 研一	連合熊本(JAM) 新任
理事	矢野 良輔	連合熊本(交通労連)	監事	青木 栄	連合熊本(熊本教育ユニオン)
理事	山本 寛	連合熊本(情報労連)	監事	川崎 竜一	福祉事業団体(労働金庫)
理事	園田 海舟	連合熊本(電力総連)			



## 県労福協福祉事業体がコロナ禍でも対策と方針を

コロナウイルス感染が全世界に拡大して1年余、いま地球規模でその対策に追われていますが、コロナ禍

の影響は経済や暮らしに及んでいます。県労働者福祉協議会を構成する「福祉事業体」も悪戦苦闘を強い

られている中、12月7日には連合熊本・県労福協合同研究集会が開かれました。

### 九州ろうきん

### 【ライフプランの重要性】

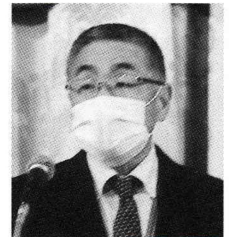
業務推進課長

和田 健吾

生活を営むうえで誰もが“ゆとりある生活を送りたい”と思っているものの、現実問題として、私たちを取り巻く環境は、「年金問題」「財政赤字」「少子高齢化」などで、年々厳しくなっていると感じているのではないのでしょうか。将来への生活の不安を少しでも取り除いていくために、今ある資産を守り、育てるために、「貯蓄」と「運用」のバランスをうまくとりながら、計画的・長期的な資産形成を行う

ことが必要となってきます。ただ「ライフプランを立てていく」といっても、世代別（現役、退職準備、セカンドライフ世代）で準備する方法は違っていきます。また、「運用」に対する不安感もあるかと思いますが、今後のライフイベントに対する準備方法や、それぞれの世代の資産形成に適した金融商品を紹介しながら、皆様一人ひとりにあったプランを提案していけたらと考えます。なおこの度ライフプラ

ンに関するDVDを作成しました。九州ろうきんがこの間取り組んできた「しあわせ創造運動」を推進するツールとして、皆様と協働で行うセミナーなどで活用していけたらと考えていますのでよろしくお願いします。



▲和田 健吾氏

### こくみん共済

### 事業状況と「共創活動の展開」

事業推進部長

石本 治行

こくみん共済coopの事業状況として、目標を設定した3つの指標の9月末の状況と年度末（2021年5月末）に向けて厳しい見通しであることが報告されました。

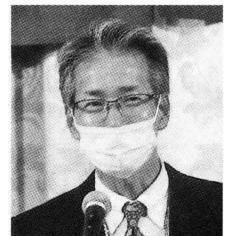
次に今後、協力団体と共創して取り組みを進めたい課題を提起します。

1点目は、令和2年7月豪雨で改めて浮き彫りとなった、自然災害共済付帯の有無等による支払共済金額の違いを踏まえた「火災共済

の普及と契約額の引き上げ」「自然災害共済の付帯率向上」の取り組み。2点目は、自賠責共済の契約を増やすことにより得られる効果について触れ、「自賠責共済の推進取り組み」と「こくみん共済coop指定整備工場の利用促進」。3点目として、2021年1月から再度取り組みを開始する『キャンペーン60』による“住まい”“マイカー”“ライフ（生命・医療）”に関する見直し依頼の提出」を、そ

れぞれお願いいたします。

また、コロナ禍でもお役立ち発想に立ち、協力団体の皆さんと共創して労働者福祉運動に取り組んでいくこと、リモートによる打合せや学習会・保証相談などへの対応も進めていくこととします。



▲石本 治行氏

### ユニオントラベル熊本

### コロナ禍で厳しい状況に

専務理事  
営業部長

木村 猪股

堅 慎

2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、宴会・宿泊などがほとんどキャンセルとなり、収支の見通しが立たない状況からのスタートとなりました。

新理事会体制で今後の営業方針を協議し、旅行販売が減少しているため、物品販売などの旅行以外の商品を販売しました。

多くの皆さまにご利用いただき、

上期の収入を支える柱となりました。

また、GoToトラベルキャンペーン利用で受注が増えてきました。

しかし、まだまだ収益の確保は厳しく、雇用調整助成金を活用して人件費を確保しているのが現状です。

今後も積極的な提案などを行い、スタッフ全員で収益確保に努めていきたいと思っています。



▲木村 堅氏



▲猪股 慎氏

皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



# 講演 ポストコロナを生きる～SDGs×働き方

講師：難波 裕扶子氏（南日本ハム株式会社管理本部 食育広報推進課 課長）

【はじめに】今回は宮崎県と結んだオンラインで、難波裕扶子氏が講演しました。難波氏は福岡県出身、国立宮崎大学農学部生物資源利用学科を卒業後、17年余ハム・ソーセージの品質保証業務に従事後、現在は『SDGs』スクール認定エデュケーターなどの資格をとって、活動を続けています。

今回の講演は幅広く内容も多岐にわたりましたので、編集部で要点をまとめて紹介します。

①2015年9月に国連の持続可能な開発サミットで採択された『SDGs(持続可能な開発目標)』の活動に加わり、幅広く行動している方です。

②日本政府も2019年12月に第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を発表しましたが「SDGs」達成はまだ13%です。2024年には『SDGs未来都市』を目指し、地方公共団体の60%以上を目標に普及促進活動を推進し、持続可能なまちづくりを目指しています。そして成功事例の普及展開に取り組みます。(右写真上から2枚目)

③九州で選定された『SDGs未来都市』(過去3年)は15市町村で熊本市、小国町、そして県では熊本県のみが入っています。(写真上から3枚目)

④地球と人類の歴史を見ると、人類誕生(狩猟社会)=自然との共生→灌漑技術の開発で定住化が定着し農耕社会に(紀元前13,000年)→蒸気機関車の発明などで大量生産開始で工業社会へ(18世紀)→コンピューターの発明で情報流通の開始(情報社会)と歴史が動いてきました。→そして現代

人は地球が持つ資源、次に残す資源も使って暮らしていますが、すでに2019年の分は使い切っており、不足している分は子孫から借りていることになります。ちなみに日本人の暮らしは食料、エネルギーなど外国から輸入するなど、他国の分まで使っています。

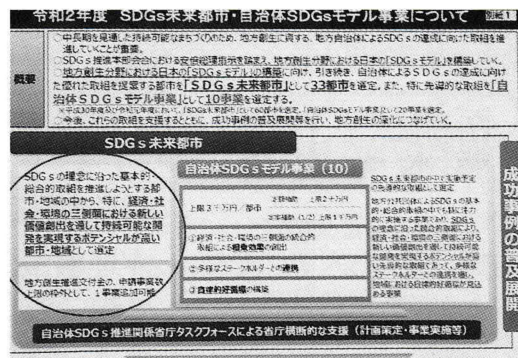
⑤「環境と発展(開発)に関する世界委員会」は1987年に「将来の世代が自らのニーズを満たす能力を損なうことなく、現在の世代のニーズを満たす発展(開発)」と定義しています。それを分かりやすく説明したのが、写真上から4枚目の図です。

皆が流しそうめんを食べられる社会をつくるのが「持続可能な開発」です。

思い浮かべてください。冷やしそうめんを流すと、流し始めた場所に近い人たちが、次々とそうめんをすくって食べますから、下の方にいる人には少ししかきません。つまり次の人のことを考えずにそうめんを食べているのです。

それぞれが次の人のことに気づいて、考えながら食べると次の人も、また次の人も食べられます。つまり皆が流しそうめんを食べられる社会をつくるのが「持続可能な開発」となります。

⑥『SDGs』とは世界レベルの社会契約です。地球温暖化の進行(環境問題) 社会福祉財源の不足(経

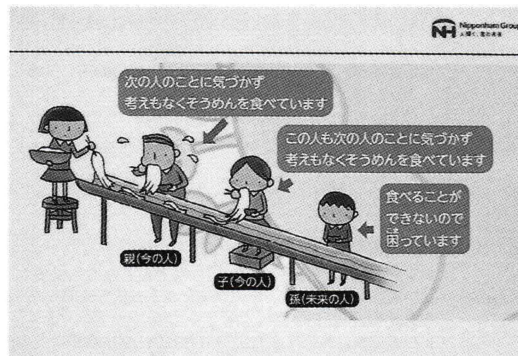


九州で選定されたSDGs未来都市(過去3年)

2020年度のSDGs未来都市選定への経緯

□一般的な課題(人口減少・高齢化)でなく、各自自治体が直面する課題や活かせる資源を元にした具体的な提案が多かった。  
 □ステークホルダーとの多様な役割が明確な連携が見られ、計画の実現性を高めている。  
 □経済価値から戦略的に企業を含む提案が印象的だった。

	福岡県	佐賀県	大分県	長崎県	熊本県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
2020年度(33都市)	宗像市			対馬市	水俣市		鹿児島市	石垣市
2019年度(31都市)	大牟田市				熊本市		大崎町	豊後村
	福岡市						徳之島町	
開始 2018年(29都市)	北九州市			奄美市	小国町			



済問題) 貧困(社会問題)など、先進国が開発途上国支援や、先進国、途上国を問わず「誰も置き去りにしない世界を目指す」ことなど、90分にわたる内容の濃い講演会に皆が耳を傾けていました。



## 報告4 増える相談、各団体とも連携を

### 「ライフサポートセンターくまもと」徳富 幸平

相談件数は284件と、昨年度の188件から1.5倍に増えた。内容は、幅広い年代層から相談を受けているが、いわゆる口コミでの相談が増加傾向にあり、ライフサポートセンターの認知の広がりを感じる。内容は、コロナ禍の影響から、雇用調整助成金などのコロナに関する補助や助成の有無、その申請方法や、制度概要を教えるという相談が多かった。

また解雇、賃金未払い、ハラスメントの相談が多く寄せられている。「未払いや有給休暇を請求したら解雇になった」など、複合的な内容が多くライフサポートセンターくまもとで受け付けた後、連



合熊本ユニオンが事案を引き継ぎ、団体交渉などによる事案解決のケースも多い。

生活困窮の相談も増えており、行政や社協、反貧困ネットワーク参加の各種団体などとの連携が重要になっている。なお、外国人労働者や専門性の高い相談への対応を可能にするため、連合本部が全国の相談を一括して受け必要に応じて、各県に面談を含めた再対応を要請するシステムへの移行が進められており、これに対応して、今後のライフサポートセンターくまもとのあり方などについて検討を進める。

医療法人社団  
熊本労安会

## 秋津レークタウンクリニック

■診療科目／内科、小児科、リハビリテーション科

いのちと健康が  
なによりも大切にされ  
一人ひとりが  
かけがえのない  
存在として尊重される  
そんな医療と社会を  
めざしています

- 理事長／木村孝文
- 院長／山口秀樹
- 入院／無
- 駐車場／有

受付  
午前 月曜日～土曜日／9:00～12:00  
午後 月曜日～金曜日／2:00～6:00  
土曜日／1:30～3:00  
※ただし、木曜の午後と土曜日の午後は  
鍼灸はお休みです。  
休診日／日曜日・祭日

〒861-2105 熊本市東区秋津町秋田344 1-20 ☎368-6007

## ユニオントラベル熊本からあなたへ



### GoToトラベルキャンペーン 旅で日本を元気にしよう!!

宿泊を伴う、または日帰りの国内旅行の代金総額の1/2相当額を国が支援する事業です。  
給付額の内、70%は旅行代金の割引に、30%は旅行先で使える地域共通クーポンとして付与されます。  
(地域共通クーポンを含んで、宿泊は1泊20,000円、日帰りは10,000円が上限)

旅行代金総額 (100%)		
支払額 総額の 65%	旅行代金割引(給付額) 35%	+
		地域共通クーポン 総額の 15%

例えば・・・

おひとり様、1泊2日20,000円の宿を申し込まれた場合、35%の7,000円が割引となり、お支払い実額は13,000円となります。さらに旅行総額15%3,000円分の地域共通クーポン券が付与されます。

支払金総額は旅行代金の2分の1相当額(10,000円)となり、お得に旅行に行くことができます。

ユニオントラベル熊本では、お客様に代わって手続きし、受領(代理受領)いたします。  
利用回数の制限はありません。面倒な手続きは全てユニオントラベル熊本が行いますのでお気軽にお申込みください。

お問い合わせは



生協 法人 ユニオントラベル熊本

TEL(096)371-2022  
FAX(096)363-2866

熊本市中央区九品寺4丁目1-8-2F 熊本県知事登録2-34号 総合旅行業務取扱管理者 堀内 淳

## 編集後記

2021年新しい年を迎えました。2020年はコロナ感染防止のためのマスク着用、ソーシャルディスタンスの徹底、リモートワークなど、今までの日常が大きく変容しましたが、今年はどうなるのでしょうか。

コロナ禍で格差が拡大し、社会的弱者の増加という現実を直視したとき、人間関係が希薄になりつつある今こそ、「共助・公助」で人と人を繋いでいかなければなりません。県労福協は「連帯・協同で安心・共生の福祉社会」構築のための活動を取り進めていきます。また、本紙で紹介していますが、「SDGs」をしっかりと意識した日常を心がけてみようと思っています。今後とも労福協活動へのご支援をよろしくお願いいたします。(U)